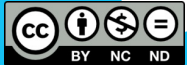


# 創発のまち

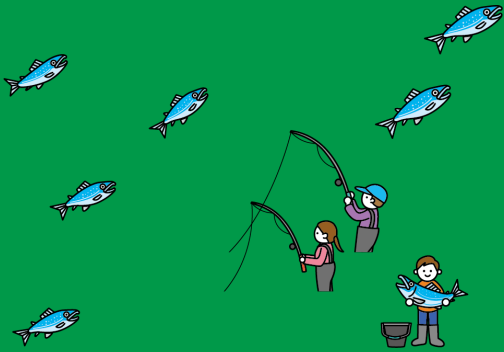
そうはっ

2030年の  
未来図





# 地域を耕す



“作物”（持続可能な地域）をつくるために、  
地域の田畑の“土”（社会的資産・人間関係）を掘り起こし、混ぜあわせ、  
柔らかい“土壌”（創発を生む環境）をつくる行為（造語）

# 目次

## 第1部 プラン（ビジョン・マップ・テーマ・ロードマップ）

1	はじめに	_____	P.08
2	計画の位置付け	_____	P.11
3	ビジョン	_____	P.13
4	マップ	_____	P.15
5	6つのテーマ	_____	P.16
6	実施体制	_____	P.23
7	ロードマップ	_____	P.24
8	目指す成果	_____	P.25

## 第2部 プランの策定経緯

9	地区紹介	—————	P.27
10	策定プロセス	—————	P.28
11	住民アンケート	—————	P.29
12	ワークショップ	—————	P.34
13	インタビュー	—————	P.45
14	参画の皆様	—————	P.48
15	実行委員会より	—————	P.49

# 目次

# 創発



# EMERGENCY

# 第1部

## プラン（ビジョン・マップ・テーマ・ ロードマップ）

## 1.はじめに

### あらかわまちづくりプラン2030策定の背景

平成24年に当協議会が発足し、あわせて「第1次まちづくり計画」が策定されました。これは協働のまちづくりの第一歩として、公募により集まった住民によりいくたびの話し合いを重ね、さらに懇談会等で寄せられた住民の意見を集め、計画を完成させたものです。

この計画は、あらかわ地区（以後、本地区とします）のまちづくりの道標になるもので、住民が主体となって計画づくりをするだけでなく、その後のまちづくりにおいても住民が主体的に参画する仕組みを盛り込み、取り組み指針としての大きな役割を果たしてきました。

計画を配布し10年が経過する中で、地域内外を取り巻く社会の状況は大きく変化をしました。

そして、地域の内外の変化を踏まえ、新しい時代に即したまちづくりのあり方が望まれています。



# 1.はじめに

## 本地区の内部の変化（地域）

- 地域課題の進行（人口減少や少子高齢化の加速、若者世代の転出による担い手不足、空き家の増加）
- 若者層の地域活動への積極的な参画が促進（あらかわチャレンジ、MTASあらかわ、ツリーハウスプロジェクトなど）
- 地域内の価値観の変化。寛容性をもち、チャレンジをするという地域土壌が醸成
- 第3次村上市総合計画（令和4年度～令和8年度）が策定（＝まちづくり計画の見直し時期）
- 豪雨水害により甚大な被災。そして復興

## 本地区の外部の変化（社会）

- 自然災害（地震・豪雨）、社会情勢の変化（国際紛争）、新型コロナウイルスの蔓延など、予測困難なVUCA（Volatility：変動性・Uncertainty：不確実性・Complexity：複雑性・Ambiguity：曖昧性）の時代の到来
- SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の理念に基づいた多様性や持続可能性に向けた考えの広がり
- 脱炭素社会を目指した森林の活用や再生可能エネルギーの利用に関するニーズの高まり
- デジタル化に伴う働き方改革の加速や社会システムの変化
- 新しい「豊かさ」や「幸福（Well-being）」の尺度、価値観を持つ時代の到来

# 1.はじめに

## 策定に込めた思い

「まちづくり」とは、私達の住む「まち」をより良いものに「つくり」変えてゆくための一連の取り組み・活動を意味しています。まちづくりは、市民や団体、企業など地域の構成メンバーであるそれぞれが主体となって役割を持ち、相互に理解し合い、連携・協働しながら取り組んでゆくことが大切です。

また、その取り組みは全ての人々にとって安心できるものであり、将来にわたって持続可能であることが求められます。

その方向を指し示すものとして誰もが安心して、ワクワクした未来を想像することのできる2030年のあらかわ地区の「未来図」として「第2次まちづくり計画」（以後、本計画とします）を策定します。

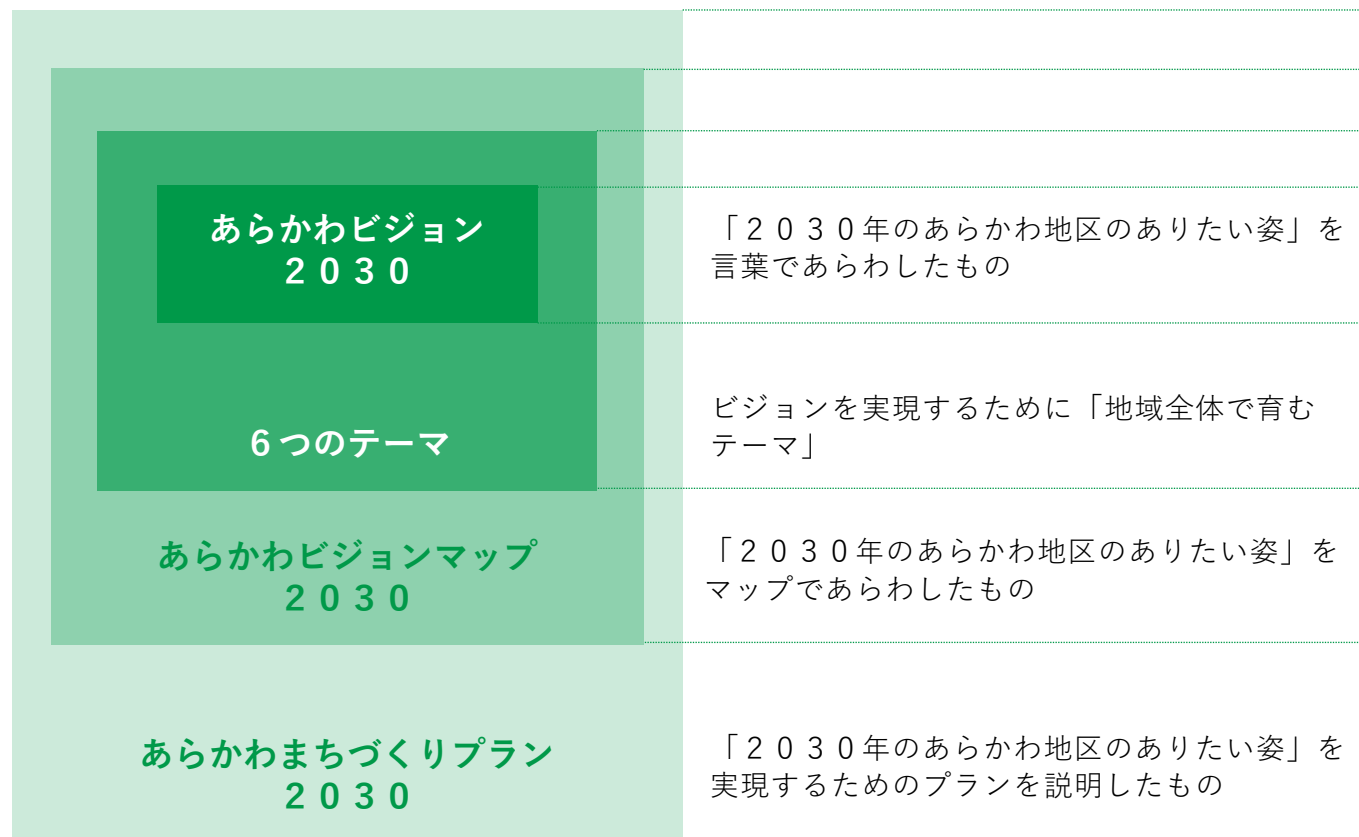
## 第2次まちづくり計画（=あらかわ地区の未来図）

- あらかわビジョン2030（以後、本ビジョンとします）
- あらかわビジョンマップ2030（以後、本マップとします）
- あらかわまちづくりプラン2030（以後、本プランとします）

## 2.計画の位置づけ

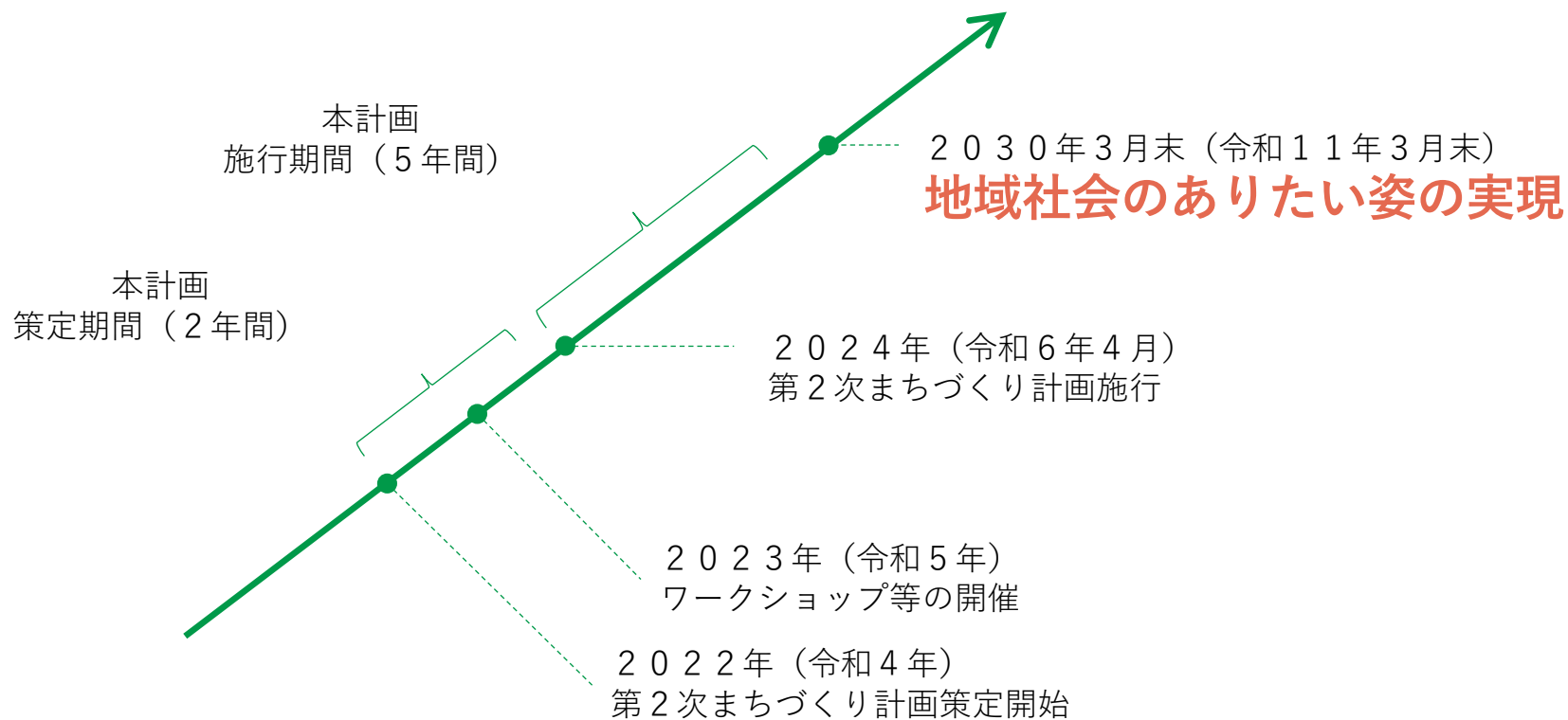
### 用語の定義

第2次  
まちづくり  
計画



## 2.計画の位置づけ

### 時系列



### 3. ビジョン

#### あらかわビジョン2030

そ う は つ

# 創発のまち

それは、想いが連鎖するまち。  
ひとりが声を上げると、誰かがこたえる。  
まわりの人がどんどん力を合わせ  
やがて大きなうねりになるまち。  
声をあげてみる人。声を応援する人。  
あなたなりで大丈夫。

**さあ踏みだそう。想いと共に。**



### 3.ビジョン

#### ビジョンに込めた想い

## 1+1+1 = ∞ (無限大の可能性)

ビジョンとは、「私たちの地域のありたい姿」をあらわしたものです。

あらかわビジョン2030とは、「2030年のあらかわ地域のありたい姿」をあらわしたものです。

「創発（そうはつ）」とは、ひとりひとりが力やアイデアを持ち合った取り組みによって、予想や意図を大きく超える全体の動き（イノベーション）が生み出されるさまを意味します。

あらかわ地区の私たちが、これまで取り組んできたことを振り返り、2030年の地域のありたい姿をあらわすのに最もふさわしい言葉として、私たち自身で話し合い、選びました。

創発

## 4. マップ

### あらかわビジョンマップ2030



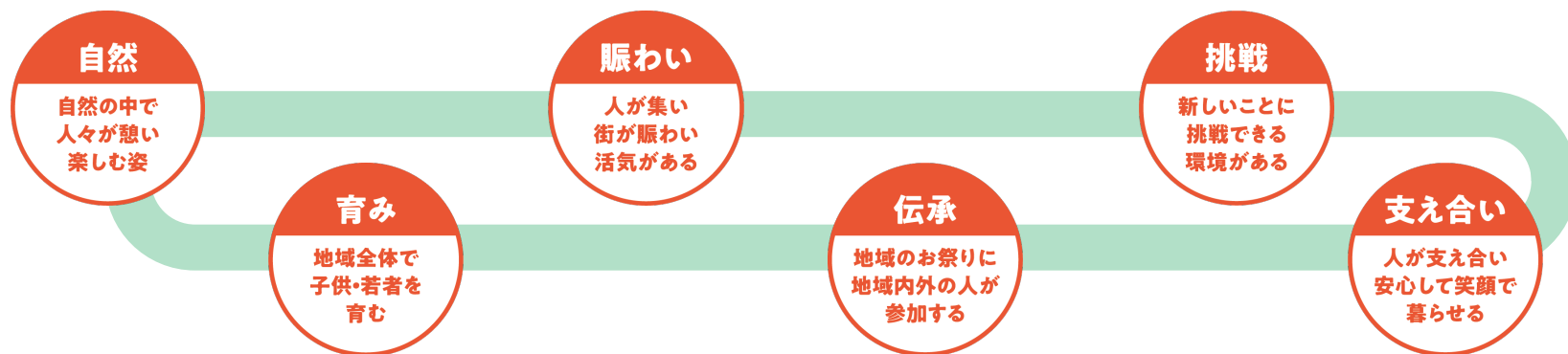
あらかわビジョンマップ2030とは「2030年のあらかわ地区のありたい姿」をマップであらわしたものです。

本マップの中には次のものが含まれています。

- ビジョン（＝私たちの地域のありたい姿）
- 6つのテーマ（＝ビジョンを実現するために、「地域で育みたいこと」、「地域の皆で力を合わせて守り伸ばしていきたいもの」）

## 5. 6つのテーマ

### 6つのテーマ



テーマとは、「中心となる内容」をあらわしたものです。

私たちがビジョン（＝地域のありたい姿）を実現するために、「地域で育みたいこと」、「地域の皆で力を合わせて守り伸ばしていきたいもの」をあらわしています。

主に取り組むべきものとして、「6つのテーマ」を定めました。

これらのテーマは、「創発」を生み出すためにそれぞれが相互につながりあっているものです。



## 5. 6つのテーマ

### テーマ1

# 自然

## 自然の中で人々が憩い楽しむ

清流荒川や高坪山に代表される地域の自然が、整備・活用され、人々がそれを憩い・楽しみます。同時に、自然に対する親しみと愛着が育まれます。

### 行動指針

- 荒川や高坪山の魅力を大人にも子どもにも伝えている
- 地域の自然に触れる場を整備し、憩う機会を提供する



## 5. 6つのテーマ

### テーマ2

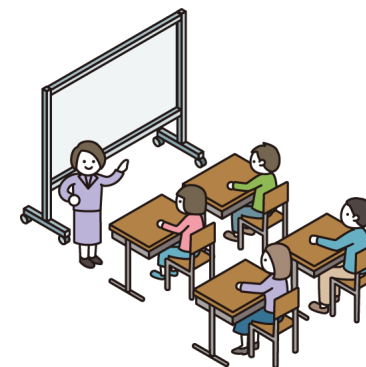
# 育み

## 人と地域がつながりをもって、子どもや若者を育む

地域の人々がつながりあい、保育園や学校（小学校・中学校・高校など）の枠にとどまらず、地域全体で子どもや若者を温かく育みます。

### 行動指針

- 地域で子ども達を保育し、共に学び合う場をつくりだす
- 体験機会を提供し、子どもたちの心と体を育む



## 5. 6つのテーマ

### テーマ3

# 賑わい

## 街の賑わいが内外に届いている

地域の商店街に賑わいが生まれ、人々が憩い楽しむと共に、その様子や魅力を地域の内外に広く届けます。

### 行動指針

- 季節のイベントを企画し、活気ある駅前商店街を生み出す
- 街の魅力を知り・発見し、情報発信する
- 花火大会など新しい形の地域行事をつくり出す



## 5. 6つのテーマ

### テーマ4

# 伝承

## 地域の文化が伝承し、郷土の魅力として維持される

地域の文化・伝統行事を、世代を超えて伝承します。そしてそれらを郷土の魅力として維持します。

### 行動指針

- 三匹獅子踊りや神楽などの祭りを若者世代に伝承する
- 地域の年配者の知見や地域に伝わる昔話、地域行事を継承する機会をつくる



## 5. 6つのテーマ

### テーマ5

# 挑戦

## 誰もが挑戦できる環境と人員がそろおう

地域の中で誰もが何かに挑戦（チャレンジ）できる場がつけられ、人々がそれを応援します。挑戦が、挑戦を呼び、チャレンジが連鎖する環境をつくれます。

### 行動指針

- 誰もが集える場・地域資源を生かした商品をうみだす
- 広い視点（SDGs等）を持ちながらも、目の前のことに取り組む



## 5. 6つのテーマ

### テーマ6

# 支え合い

## 人々が支え合い、笑顔で安心できる

地域の中で人々がともに助け・支え合い、笑顔で安心して暮らすことのできるつながりをつくります。

### 行動指針

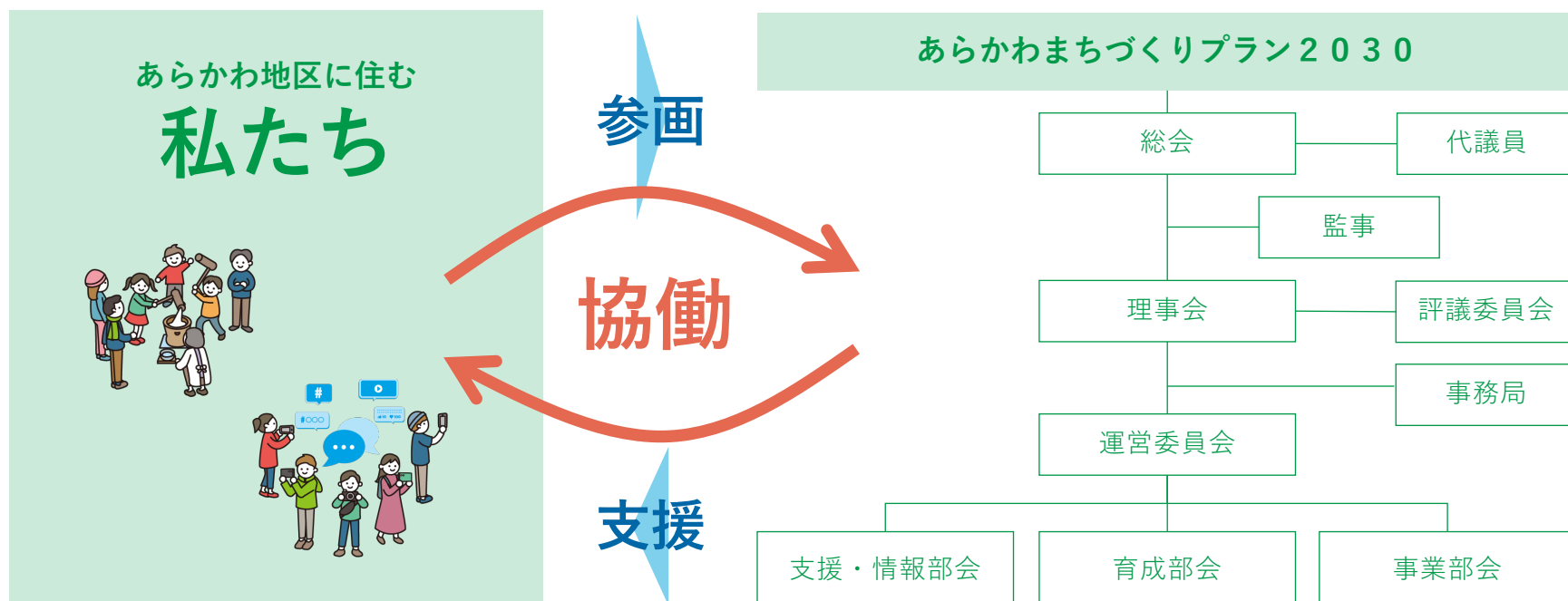
- 多様な人々が住みよい環境を私たち自身の手でつくりだす（ハンディキャップのある方や外国籍の方等のサポートや買い物支援・ライドシェア等）



## 6. 実施体制

### 実施体制

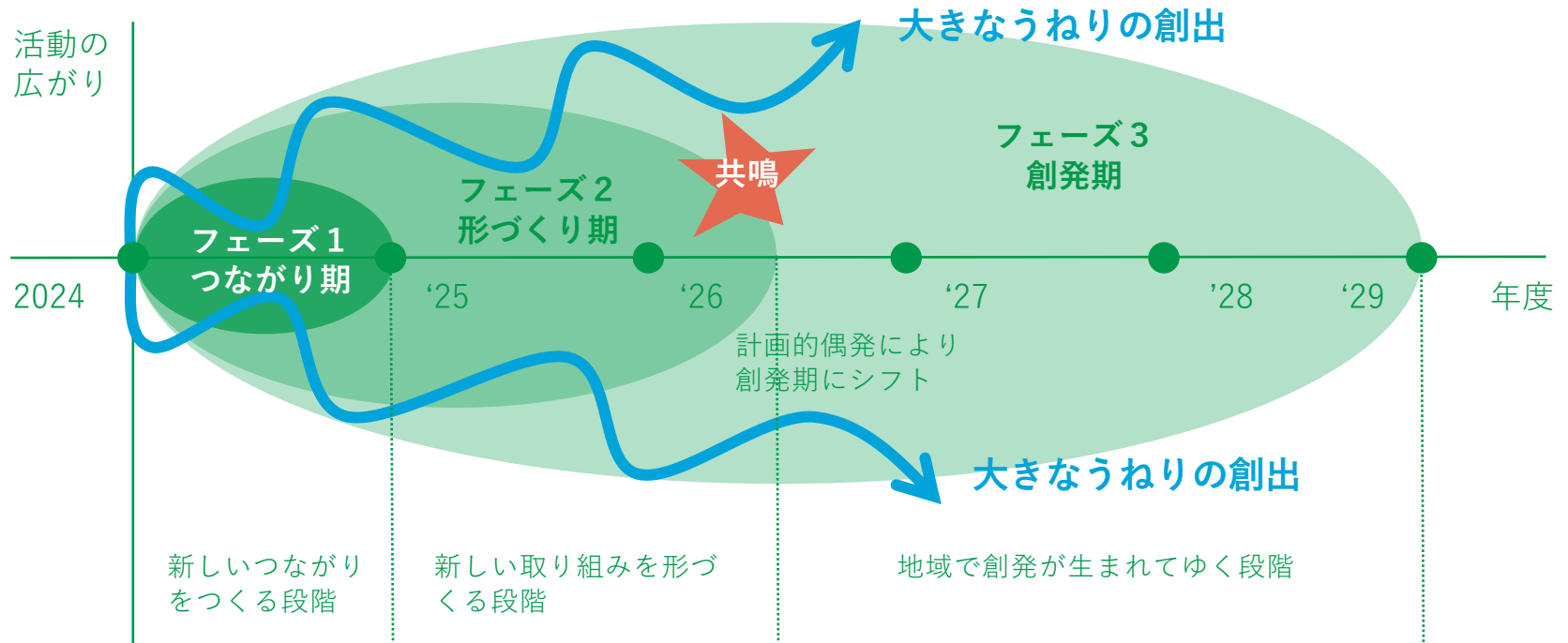
あらかわ地区に住む私たちが、ともに「協働」をしながらこのプランを実現してまいります。



## 7. ロードマップ

### ロードマップ

2030年までを3つのフェーズに分け、本プランを実現してまいります。

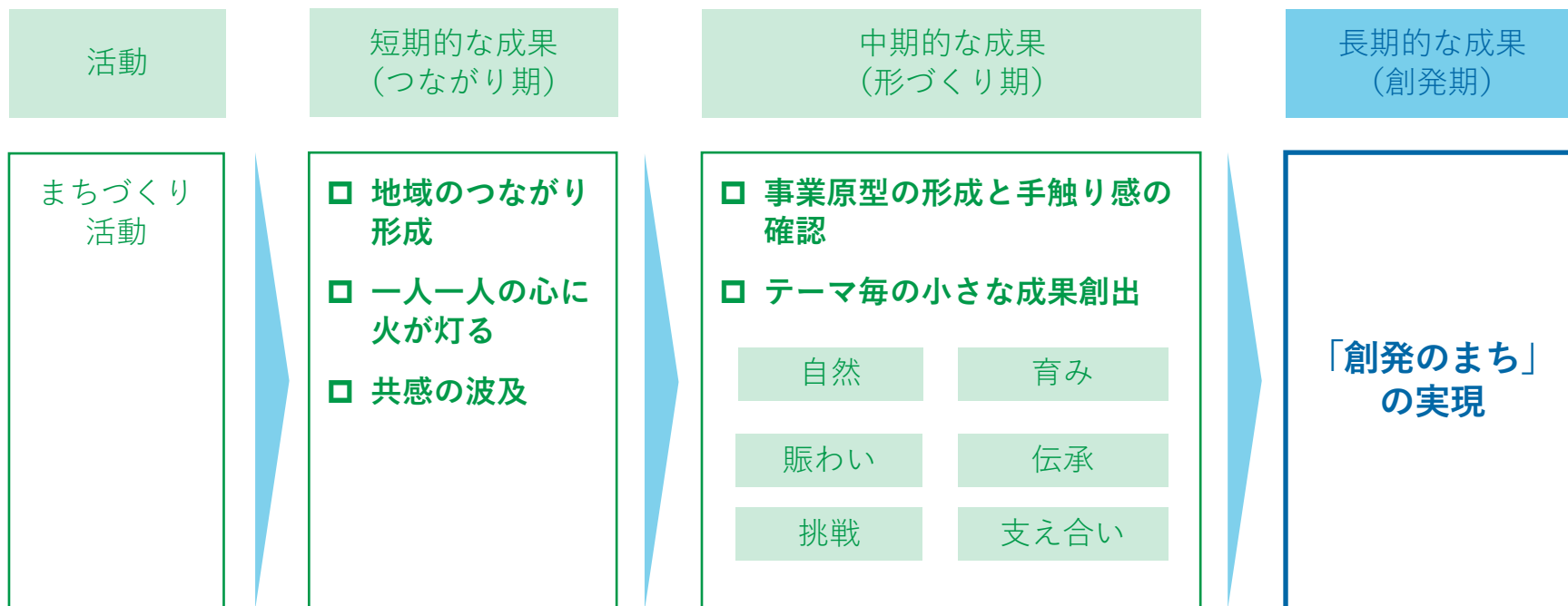




## 8. 目指す成果

### 目指す成果

本プランに取り組むことによって目指す成果は次のとおりです。



# 第2部 プランの策定経緯

## 9. 地区紹介

### あらかわ地区について

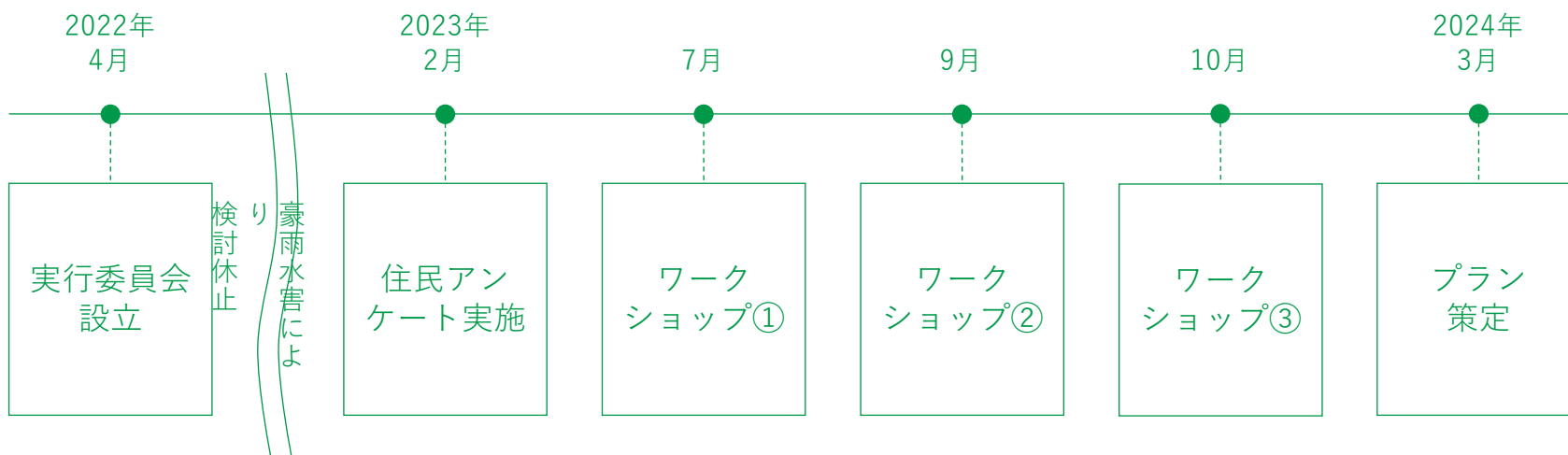
あらかわ地区は新潟県村上市の最南端にあり、高坪山や鮭の遡上する清流荒川が流れる自然豊かな地域です。「岩船産コシヒカリ」などの産地として、主要道や鉄道が通う交通の要衝として親しまれてきました。



## 10. 策定プロセス

### プランの策定プロセス

2022年4月にあらかわまちづくりプラン2030策定実行委員会を設立しました。2022年8月の豪雨水害による検討休止期間を経て、2023年に住民アンケートとワークショップを実施し、本プランを策定しました。



## 11. 住民アンケート

### 実施概要

あらかわ地区の住民全体の本地区に対する考えを知るために、アンケート調査を実施しました。

目的	あらかわ地区の住民の本地区に対する評価と将来に対する考えを把握する。
実施期間	2023年2月1日～3月31日
回答者数・年代	あらかわ地区の住民（233名）
自由記述の割合	右表のとおり
調査観点	1. 今のあらかわ地区への評価 2. これからのまちづくりに大切だと思う考え

表1. 回答者数と年代

	人数	割合	自由記述率
～10代	167	71.7%	59.9%
20代	6	2.6%	50.0%
30代	19	8.2%	36.8%
40代	12	5.2%	50.0%
50代	14	6.0%	21.0%
60代	13	5.6%	69.0%
70代～	2	0.9%	100.0%
合計	233		

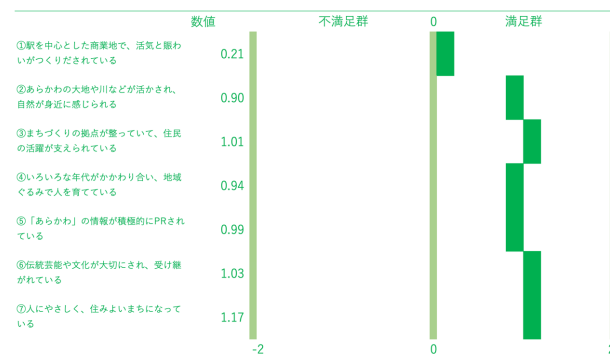
# 11. 住民アンケート

## 住民アンケートから見えたこと 1 今のあらかわ地区への評価

- 本地区に対する満足度を調べた結果、すべての項目で満足度が高い
- 満足度の高い項目は「まちづくりの拠点が整っていて、住民の活躍が支えられている」、「伝統芸能や文化が大切にされ、受け継がれている」、「人にやさしく、住みよいまちになっている」

表2. 現時点でのあらかわ地区の評価（項目別）

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
①駅を中心とした商業地で、活気と賑わいづくりがされている	16.3%	40.8%	33.0%	9.9%
②あらかわの大地や川などが活かされ、自然が身近に感じられる	38.2%	39.5%	18.9%	3.4%
③まちづくりの拠点が整っていて、住民の活躍が支えられている	39.5%	42.5%	15.5%	2.6%
④いろいろな年代がかかり合い、地域ぐるみで人を育てている	37.3%	42.1%	18.0%	2.6%
⑤「あらかわ」の情報が積極的にPRされている	36.1%	46.8%	14.2%	3.0%
⑥伝統芸能や文化が大切にされ、受け継がれている	39.9%	42.9%	14.2%	3.0%
⑦人にやさしく、住みよいまちになっている	45.9%	40.8%	11.2%	2.1%



# 11. 住民アンケート

## 住民アンケートから見たこと2 今のあらかわ地区への評価

- 本地区に対する満足度は世代によって異なり、その満足度は10代・20代が最も高く、70代以上は最も低い
- 本地区に対して不満足と感じている回答者の中で、満足度の低い項目は「駅を中心とした商業地で、活気と賑わいがつくりだされている」

表3. 現時点でのあらかわ地区の評価（世代別）

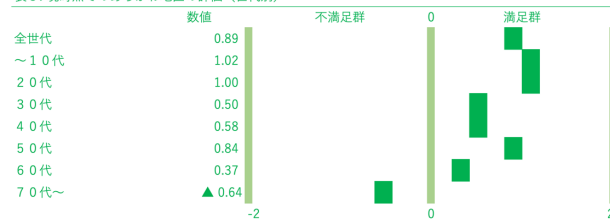
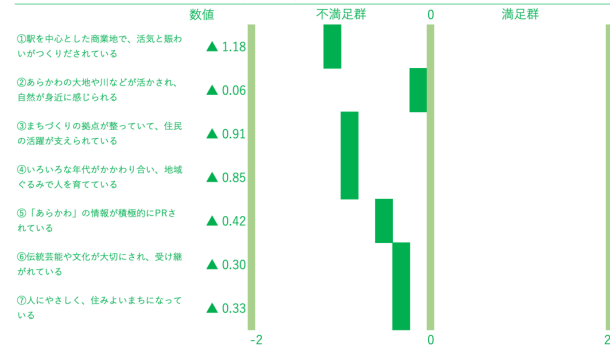


表4 現時点でのあらかわ地区の評価（不満足群）



# 11. 住民アンケート

## 住民アンケートから見たこと3 これからのまちづくりに大切な考え

- 住民全体がこれからのまちづくりに大切と考えているのは、「子育て・教育」、「働きやすさ」、「防災・くらしの安全」、「空き家・移住対策」など
- 不満足群では「違いを認め合える社会」も大切ととらえている

表10 これからのまちづくりに大切な考え（総回答数ベース）

	子育て、教育 働きやすさ	違いを認め合 える社会	観光客を増や す	空き家、移住 対策	高齢者の支援	健康、スポー ツ	農林水産業の 盛り上げ	防災・くらし の安全	交通の便利さ 向上	自然環境を守 る観しむ	商業や起業す る人の応援	地域で集まれ る場づくり	地域の情報の 発信	伝統文化の引 き継ぎ	
全世代	16.7%	9.3%	5.1%	8.0%	9.2%	5.6%	6.6%	0.8%	9.3%	4.7%	6.6%	4.1%	5.3%	4.0%	4.7%
～10代	14.4%	7.7%	5.6%	9.8%	9.2%	5.6%	6.5%	0.8%	9.6%	5.6%	8.1%	2.7%	5.6%	2.9%	5.8%
20代	22.2%	16.7%	0.0%	11.1%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%
30代	29.4%	11.8%	7.8%	2.0%	3.9%	2.0%	5.9%	0.0%	5.9%	2.0%	2.0%	11.8%	5.9%	7.8%	2.0%
40代	16.2%	8.8%	2.9%	4.4%	17.6%	4.4%	8.8%	2.9%	2.9%	4.4%	0.0%	7.4%	5.9%	10.3%	2.9%
50代	17.1%	19.5%	2.4%	2.4%	4.9%	17.1%	2.4%	0.0%	12.2%	2.4%	4.9%	2.4%	2.4%	7.3%	2.4%
60代	25.0%	11.1%	2.8%	2.8%	16.7%	0.0%	11.1%	0.0%	8.3%	0.0%	5.6%	11.1%	2.8%	2.8%	0.0%
70代～	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不満足群	22.5%	12.1%	8.8%	6.0%	8.8%	1.6%	7.7%	3.3%	4.4%	6.0%	6.6%	6.0%	4.4%	0.5%	1.1%

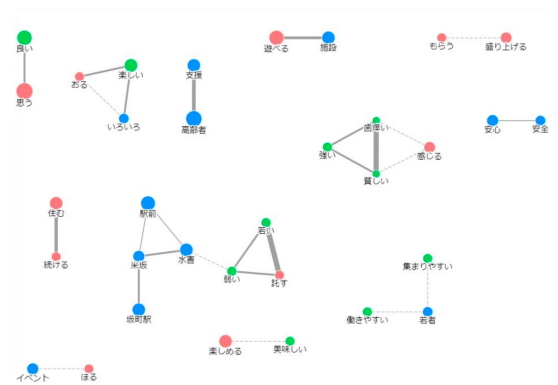
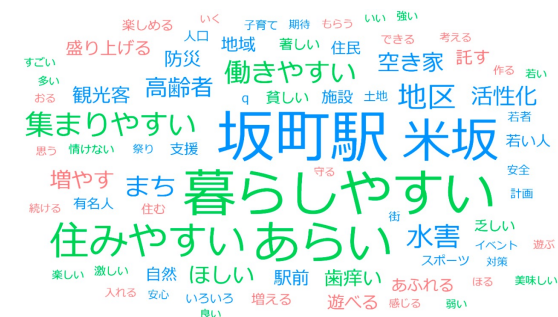


## 11. 住民アンケート

### 住民アンケートから見たこと4 これからのまちづくりに大切な考え

- 本地区のまちづくりに対する大切な考えについて、自由記述の意見から出てきたキーワードは、「坂町駅」、「暮らしやすい」、「住みやすい」など
- 住民の日々の健やかな暮らしに対する願い

図1. 自由記述欄で出てきたキーワード  
(テキストマイニング)



## 12. ワークショップ

### 実施概要

あらかわ地区の住民全体の本地区に対する考えを深め、プランを策定するために、全3回のワークショップを実施しました。



目的 あらかわ地区の住民が主体となり、  
本地区のまちづくりプランを検討する。

期間 2023年7月～10月

対象 あらかわ地区住民・在勤者（申込制）

開催テーマ

- 第1回 **私の願い、あなたの願い**
- 第2回 **私たちの願い**
- 第3回 **このまちのミライ**

## 12. ワークショップ

### 第1回 願いのキューブ

#### テーマ 「私の願い、あなたの願い」 (=個人の願う未来像)

第1回ワークショップでは個人の願う地域のありたい姿について「願いのキューブ」の工作を行うことにより皆で意見を出し合いました。

**願いのキューブの作りかた**

1. 個人の写真(1と2)に自分の好きな絵や写真、貼ってください
2. 自分があんな地域どうなるといいかなという願いや希望を言葉で書いて、切ってキューブに貼ってください
3. 参加者の願いや希望を集めて、切ってキューブは完成です

**写真**

チーム内で撮影してつくります  
写真のサイズは大きめで  
貼は上手に貼ってください

**希望**

希望

写真を貼ってください

写真を貼ってください

願いを書いてください  
(キーワードと絵)

お名前と  
住所を書いてください





## 12. ワークショップ

### 第2回 ジオラママップ

#### テーマ 「私たちの願い」 （＝住民コミュニティの願う未来像）

第2回ワークショップでは地域コミュニティの願う地域のありたい姿について「ジオラママップ」を制作することにより、皆で対話を行いました。





# 若い人たちが荒川を 自慢に思ってくれる まちになってほしい

ワークショップで出された意見より



# 自然豊かで 安心して暮らせるまち



ワークショップで出された意見より



# 子どもも大人も自分の夢を



ワークショップで出された意見より

## 12. ワークショップ

### 第2回 ジオラママップ

#### 重要な取り組みの切り口

## 人を育む

地域で人を育むことが重要と考えます。

## 皆が元気に働き、街の賑わいをつくる

元気に働き、仕事を作ることが重要と考えます。

## 多様な価値観を認め合い、支え合う

多様な価値観を認め合い、ともに助け合い生涯暮らしていけることが重要と考えます。

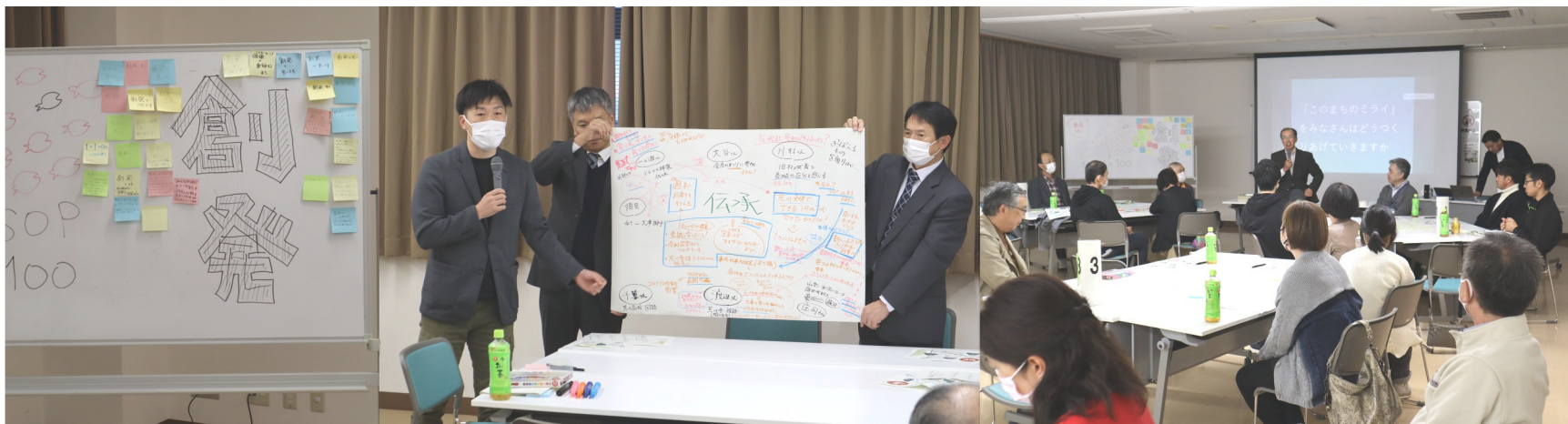


## 12. ワークショップ

### 第3回 ビジョンと6つのテーマ

#### テーマ 「私たちの願い」 (=このまちに願う未来像)

これまでに皆で出し合った意見 (=ありたい姿) を集約し、「ビジョン」と「6つのテーマ」にまとめました。



## 12. ワークショップ

### 第3回 ビジョンと6つのテーマ

#### ビジョンマップ



6 創発を起こす  
6つのテーマ

01 自然の中で人々が思い楽しむ 02 人と地域がつながりをもって、子どもや若者を育む 03 街の賑わいが内外に届いている  
04 地域の文化が伝承し、郷土の魅力として維持される 05 誰もが挑戦できる環境と人員がそろう 06 人々が支え合い、笑顔で安心できる

# 創発

$$1+1+1 = \infty$$

## 13. インタビュー

### 自然は地域の宝物

伊藤真さん（いづみや旅館）

People

あらかわ地区の「自然」についてお聞かせください？

現在、荒川は災害復旧のための大規模な工事が行われています。しかし、その過程で、貴重なサケの卵が失われてしまいました。災害復旧は必要不可欠ですが、荒川はやっぱり「いい川」です。生物が安心して暮らせる環境への復帰を心待ちにしています。天気の良い日に高坪山に登るのはとても良いものです。山頂から飯豊山を望む景色は本当に素晴らしいです。

あらかわ地区の「まちの賑わい」についてお聞かせください？

駅前地区などでは後継も減り、高齢化と少子化が進んでいます。これがいいという答えがあるわけではないのですが、地域活性化に向けた取り組み、例えば地域の人たちが集まる場や活動など、それもただの遊び場ではなく、地域に関わる意志を持った活動があり、若い方がどんどん参加してくれることがとても大事だと感じています。

5年後、ご自身はこの地域にどのように関わってみたいですか？

5年後もそんなに変わらないと思います。やっていることも同じだろうし。とりあえず健康で元気でいられればいいかなと。鮭釣りは私のライフワークの一部みたいになっています。健康を保ちながら、これからも地域のためにできることを模索していきたいと思っています。



## 13. インタビュー

People



## 日々の笑顔の積み重ね

富田絵里子さん（ふくちやcafe）

### 日々の活動を通して目指していることは何ですか？

私たちは、心身の不調を抱える人々や子ども達をサポートし自分らしく生きる手助けをすることに力を入れています。私たちの目標は、地域の人々が楽しく、笑顔になれる活動を続け、結果的に住みやすいまちを共に作り上げることです。大きな夢を持つことも大切ですが、私たちは日々の小さな努力を重ねることこそが、実は最も効果的な近道だと信じています。日々、人々の笑顔を追いかめ、その一瞬一瞬を大切にしています。

### 一度地域を離れた経験があるとうかがいました。

一度地域を離れて学んだことで、さまざまな知識や社会経験を得ることができました。それによって自分の地域への貢献方法についても、より深く理解することができたと思います。

### 5年後の地域の将来に向けての願いはありますか？

地域から一度は飛び立つ若者たちが、将来戻ってきたくくなるような魅力的なまちを作ることが私たちの願いです。地域全体が幸せになるために、私たちは日々、地道ながらも意味のある活動を続けていきたいと考えています。

### 地域活動への情熱を持ち続ける秘訣は何ですか？

私たちの活動の根底には、「人のために何かをしたい」という思いがあります。地域の人々が幸せになるためのサポートをすることが私たちの喜びであり、それが私たちを動かし続ける原動力です。

## 13. インタビュー

# 三匹獅子踊りを地域で伝承

## 近藤恵介さん（大津獅子保存会）

### 伝統芸能とお祭りへの関わりについてお聞かせください？

私の関わりは中学生の時から始まりました。小学生の頃から憧れていた伝統芸能に、実際に参加することになり、踊りを通じて地域の人々との絆を深める楽しみを知りました。高校生になっても練習を続け、保存会に入会しました。私たちの集落の伝統を次世代に引き継ぐこと、そして様々な年代の人々が交流する場を提供することに大きな意義を感じています。

### 伝統芸能が地域社会にもたらす点についてはどうお考えですか？

伝統芸能は、特に子ども達にとって、地域に対する誇りを持つきっかけになります。彼らが伝統を楽しんでいる姿を見ることで、他の子ども達も参加を希望するようになり、一度離れた人々も祭りの時期には戻ってくるようになる。これは地域の活性化にもつながります。

### 現在、新しいまちづくり計画の一環として伝統芸能の継承が進められていますが、5年後にはどのような変化を望んでいますか？

5年後、私たちの集落では伝統がさらに盛り上がり、一度休止してしまった集落でも伝統が復活していることを願っています。

### 5年後、ご自身は伝統芸能にどのように関わってみたいですか？

何よりも大切にしてほしいのは、祭りを通じて地域の人々を楽しませ、喜びの声を聞くことです。それが私の一番の願いですね。



# 14. ご参画の皆様

お名前 渡辺 有太	お名前 三田 康明	お名前 田中 悠也	お名前 櫻井 隆樹	お名前 佐藤 剣太	お名前 大谷 勇太				
お名前 坂井 俊	お名前 川村 久美子	お名前 土田 孝	お名前 羽田 裕弥	お名前 酒井 幸子	お名前 鈴木 清博	お名前 坂上 正信	お名前 川村 三千男	お名前 奇礼 松美	お名前 三田 敏志
お名前 伊藤 眞	お名前 時田 喜雄	お名前 土井 庸子	お名前 柏瀬 幸子	お名前 瀧 珠	お名前 岡崎 航	お名前 畠田 咲	お名前 須貝 俊樹	お名前 長部 暁	お名前 平野 路子
お名前 岡野 司	お名前 竹内 寛人	お名前 増田 有貴	お名前 長谷部 忠	お名前 渡部 良	お名前 加藤 広章	お名前 畠田 光	お名前 江端 崇作	お名前 大島 瑞希	お名前 志村 楓琉
お名前 一ノ瀬 唯斗	お名前 森 潤	お名前 菅沼 利幸	お名前 平田 貴大	お名前 須貝 俊大	お名前 森 山	お名前 庄司 美治	お名前 渡邊 美月	お名前 遠山 純	お名前 方村 好比留 お名前 川村 敏晴
お名前 小川 剛	お名前 森 周作	お名前 藤井 和也	お名前 須貝 ミチユ	お名前 下村 真史	お名前 畠田 絵里子	お名前 千葉 知樹	お名前 橋本 莉名	お名前 平田 恒彦	お名前 森 咲



## 15. 実行委員会より



あらかわまちづくりプラン2030  
策定実行委員会委員長（あらかわ  
地区まちづくり協議会副理事長）

川村 三千男

新まちづくり計画策定実行委員長として関わらせていただきました。私は、この荒川地区に移り住んで45年になります。今では、第2の故郷として、とても大好きな街です。この荒川地域には豊かな自然があります。そして、数多くの歴史、文化、伝統芸能があります。そして、何よりも地域が一体となってよくまとまっています。子育てするにしても、生活するにしても非常に暮らしやすい地域です。そんな素晴らしい魅力のある地域を次の世代にうまく譲り渡せることができるようにと考えながら、新たなまちづくり計画を作り上げました。この計画を指針として、大勢の地域の方々の力によって、それを創発させ、次世代につなげていければと思います。



同委員  
（同支援・情報副部長）

須貝 俊大

私は、小さな頃に獅子踊りで地域の方に可愛がって面倒をみていただきました。自分が小さな頃に経験したように、今の子どもたちにも、この街が好きになり、誇りに感じてほしいなと思いながら、獅子踊りやまちづくり協議会での活動をしています。

まちづくりの指針は、時代に合わせてアップデートする必要がありますと感じており、この地域がさらに発展していくために、新たな計画を策定しました。

自分はこんなことがしたいとか、こういうことができるのではないかと自分で手を動かしてくれる人が増えてほしいなと思います。この計画書を見て、少しでも共感してくれた方が、自らプレイヤーとして一歩前に進んでもらえることを期待しています。



同副委員長  
（同理事長）

江端 栄作

第2次まちづくり計画の策定にあたり、住民ワークショップを開催した際に、若い方々の意欲や地域への熱い想いを感じました。私のこれまでのまちづくり活動を振り返ってみると、私が若い頃にお世話になった方々への恩返しの意味を込めて、私も地域の若い方々に対する視点を大事にしながら活動に携わっています。

現在の荒川地域を見ると、あらかわチャレンジなど、若い方々が積極的にまちづくり活動を行い地域に元気を与えています。こうして地域の将来にキラッと光る部分を感じられるところは、全国的に見ても、この地域の自慢になると感じています。将来にわたって住みよい地域にするために、楽しみながら一緒に活動していきましょう！



同委員  
（同事業部会）

櫻井 隆樹

今回のまちづくり計画策定に際したワークショップで、地域の皆さんの熱い想いに心を動かされたことがとても印象に残っています。

多様な立場の方が集まり、それぞれがその目線のプロトとして意見を交わしていた様子や、「こんなことができたらいね」「こんなものがあつたらいいね」とアイデアがたくさん出てきた様子を見て、「こんなに熱い大人がたくさんいるこの街はカッコいいな」と誇らしく思いました。

今後は、「どどん”起ころ”まちであってほしいな」と思います。今回出たアイデアのようなワクワクが形になるまち。今後、みんなでワイワイしながら楽しく“つくっていく”、そんな場面がたくさん見られたらいいなと期待しています。



同委員  
（同事業部会長）

酒井 幸子

私は、まちづくり活動に関わって10年が過ぎました。主にハーブメイツあらかわの一員としてラベンダーを育ててきました。今思い返してみると、育てているラベンダーが全部枯れるということもありました。逆境に陥ったことで、皆でなんとかしなければと、困難に立ち向かうということで、仲間意識が高まったのではないかと感じています。

10年前とは、地域の様子も、そこに住む人たちの考え方も大きく変わりましたので、このタイミングで新たなまちづくり計画を作るということは有意義だと感じました。

新まちづくり計画によって、多くの人たちがそこからヒントを得て、自分でこんなことをやってみようと感じていただければ嬉しいです。



同委員  
（株式会社第四北越銀行坂町支店長）

渡部 良

あらかわ地区の金融機関として、もっと『まちづくり』に関わりたい！もっと出来ることかあるはず！という思いから、まちづくり協議会の仲間に入れていただきました。実行委員会の活動の中で、地域の皆さまの“荒川愛”をたくさん感じています。本当に素晴らしい！なんていい街なんだと感心する一方で、そのポテンシャル（可能性）も再確認することが出来ています。

荒川地区には、沢山の価値があります。その様々な価値を有機的に結びつけて、さらに大きな価値に連鎖させていくことが、未来に続くまちづくりなんだと思います。創発のまち荒川の未来に向けた新しい計画づくりに前のめりで、協力し続けたいと思っています！

よろしくお願いたします。

# 私たちはこのまちを未来につなぎます。

## 2030年の未来図 あらかわまちづくりプラン2030

取材協力 伊藤眞様・富田絵里子様・近藤恵介様（順不同）  
制作協力 （株）ティーネットエンタープライズ・新潟支社  
ふるばやしローカルデザイン事務所

著 者 あらかわまちづくりプラン2030策定実行委員会  
発行者 あらかわ地区まちづくり協議会  
発行日 令和6年4月（初版）  
所在地 新潟県村上市山口444番地（荒川支所地域振興課自治振興室内）



本著作はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。

## お問い合わせ先



TEL：0254-62-3102  
FAX：0254-62-5275

さあ踏み出そう。  
想いと共に。

あらかわまちづくりプラン2030

わたしたちが目指すのは

創発そうはつのまち

2030年の  
未来図